

〔赤嶺奈津江議員 登壇〕

○12 番 赤嶺奈津江さん おはようございます。令和 2 年第 1 回定例会、一般質問一番手で質問をさせていただきます。質問に先立ちまして、現在、新型コロナウイルスで亡くなった方、また闘病中の方にお悔やみとお見舞いを申し上げたいと思います。昨日、沖縄県内でもお一人、海外籍ということですが、またコロナの患者さんが出て、また 10 代の方が感染ということですので、なるべく早く県内でも、離島県、島嶼県ということで、被害が余りひどくならないのかなということも思いますけれども、やはり海外、県外からの観光客と、また赴任等で異動があるかと思しますので、なるべく感染しないように消毒、マスク、徹底していきたいと私自身も思っております。それでは質問をさせていただきます。最初に一括で質問をさせていただいた後に、再質問から一問一答でお願いしたいと思しますので、よろしくお願いいたします。

まず初めに 1 点目、町道 10 号線について問う。(1) 町道 10 号線整備を町民への説明会を開催されているが、町民からの要望等はあったか。(2) 歩道の設置について、どのように検討しているか。(3) 住宅の張りつき状況から見て、大名から東新川向け左側に歩道を設置すべきと思うが、現状はどうなっているか。(4) 児童・生徒の通学路にもなっているが、教育委員会にも安全性について確認したか。

2 点目であります。水泳授業の外部委託の検討を。(1) 公共施設の長寿命化の動きの中、北丘小学校校舎はリフォームで延命しました。体育館及びプールについては建てかえの方針が以前の議会答弁でも出ております。財政的に厳しい状況では、実際いつになるかわかりません。そこで、建設費、維持費の点からスイミングスクールへの委託を検討してはどうか。

(2) 試験的導入を行い、校舎を含め全体の配置や教員の負担軽減、建設費・維持費について費用の比較検討をしてみてもどうか。以上、2 点お願いします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 おはようございます。質問事項 1 点目の町道 10 号線について問うの (1) についてお答えします。町道 10 号線の道路整備については、平成 16 年度から平成 19 年度にかけて大名自治会を初め、町議会議員などから要望がありました。

次の (2) と (3) については関連しますので一括してお答えします。現況道路の両側に住宅等が多くありますが、県道 240 号線への取りつけに伴い、山手側に法線が変更になること、整備に支障となる物件移転を山手側の片方として事業費の縮減を図る、支障物件移転後の残地に再築したいとの地権者の要望などの理由により、県道から東新川に向け右側の山手側に歩道を設置する計画となっております。

(4) についてお答えします。通学路安全推進会議等の事務局会議の中で、東新川の児童生徒の安全を考慮した歩道を設置する必要があるとの意見がありました。そこで、歩道を両

側に設置する事業計画変更について、県と検討・協議をしてみたいです。以上です。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項2点目、水泳授業の外部委託の検討について、(1)と(2)は関連でございますので一括での答弁といたします。水泳授業の外部委託については、費用対効果を含め、さまざまな観点から調査をしてみたいです。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん 答弁ありがとうございました。実際この町道10号線については、東新川から大名側に向けておりてくると右側です。山手側ではなくて、住宅が張りついているところということで、歩道が途中まで来ておりまして、途中から全く歩道がない状況になってくるのですが、今、既存の歩道が一部整備されているところがあるものですから、実際子供たちがそちらを歩いて来て、そのまま途中まで来て、側道というか、小さい道に入って学校に向かっていく形になっています。また、開邦高校に向けて歩いて行く高校生もいて、両側から歩行者がいる形になります。実際私たちも調査のときに行きましたけれども、かなり交通量が多くて危険な場所であると私も認識しております。その中で、今回(1)のほうで説明会といいますか、大名自治会を初め、町議会議員からもあったということですが、この町道整備についての説明会とか、住民懇談会等で要望があったかどうかを確認したいと思います。

○議長 知念富信君 暫時休憩します。

休憩（午前10時07分）

再開（午前10時07分）

○議長 知念富信君 再開します。都市整備課長。

○都市整備課長 宮城良武君 それではお答えします。住民説明会等の経緯ですが、当初の計画の段階で、平成22年に東新川、大名の役員の皆様に計画の説明をしております。先ほど1の答弁にありましたように、自治会とか議員の皆さんからも要望がありまして、これを、単独費の中では、到底、事業費とかがかかむものですから、事業化にするための第1回の説明を平成22年に東新川と大名自治会に行っております。その後において、平成23年度に東新川と大名の地権者に説明を行っております。その後、平成25年に再度地権者に、平成23年度は事業実施のための説明会です。平成25年においては、関係地権者を集めて説

明会を行っております。行政懇談会の件ですけれども、平成 21 年度の行政懇談会で、この整備ができないかという要望の、懇談会の中で説明がありました。以上です。

○議長 知念富信君 12 番 赤嶺奈津江議員。

○12 番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。実際私のほうで、歩道の取り付け部分がどこになるかとか、そういったことを聞いたかどうか、区長さんや区民の皆さんに聞き取りをしたら、歩道がつくだろうという、ただそれだけの感覚で、既存のものがあるからそのまま行くだろぐらいの想像しかなくて、片側、反対側、山手側に行くということは全く知らなかったのです。今の道をそのまま行くと思っていますし、また東新川からすれば、一旦東新川の交差点の部分で渡って、そのまま真っ直ぐ大名側におりてきて、そうしたらまた反対側へ道を渡って、また次の県道を渡ってという形で、同じ直線で行けばそんなに負担ではないのですが、あの交通量が多い中を、途中、子供たちが行ったり来たりするのかと。絶対あり得ないと思います。やはり子供たちは今までの通学路の認識で行きますので、わざわざ、特に雨降りとか危険な状態の中での横断というのは、やはりあり得ないと思いますし、以前、交通量の調査をしたときにも、こんなに細い道でこんなにあるのかと、町も思ったという話をされていまして、是非これは早期に計画変更を県と協議して行うべきだと思いますけれども、一括で答弁されていますので、県と協議するということではありますが、いつごろをめどに、今、予算がかなり減額になっていて、なかなか進んでいないタイミングだからこそ、今できることだと思います。本当に早期にやるべきだと思いますけれども、町が目安としては、いつごろやる予定でいらっしゃいますか。

○議長 知念富信君 経済建設部長。

○経済建設部長 神里操也君 お答えします。昨年来、大名の行政懇談会が平成 31 年 2 月にございまして、その席でも申し上げましたけれども、やはり歩道の両側設置要望というのが、大名自治会からもございまして、東新川地区においても、同様に通学路が確保されるということがございますので、片側の計画ではございますけれども、それにつきましては、県のほうとも変更する方向で、両側に設置できる、そういった検討を調整、協議してまいりたいと、早速令和 2 年度から、補助金の要望とか、また次年度の要望とかございますので、その席とあわせて計画の変更も進めてまいりたいと思っております。

○議長 知念富信君 12 番 赤嶺奈津江議員。

○12 番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。とても前向きな答弁をいただいて安心しました。実際、開邦高校、開邦中学校もできまして、町内からの受験者も、中学生も多く

なって、中高、南風原町だけではなくて与那原側からとか、それ以外のところから来る方もいますし、安全だから安心して通えるんです。安心安全ではなくて、安全安心なのです。だから、安全な通学ができるように、きちんと、10号線をせっかく整備するのですから、車のためとか、それだけではなくて、歩行者の安全の確保という部分でも是非お願いしたいと要望して、この質問を終わりたいと思います。

次に、水泳の外部委託の検討ということで、費用対効果も含めてということですが、実際、県外でもプールの再整備の時期に入ってきて、なかなか整備に対する費用の補助とか、維持管理についてはかなり費用負担が大きいということで、外部委託を検討しているところも多く、また実際、委託を試験的に導入とか、文科省でもそれを事例として挙げるぐらい多くなっているという認識しております。実際、千葉県佐倉市では、試験的に導入をして、当初1校から導入したそうですが、今年からですかね、昨年だったか、2校にふやしたそうです。それだけ費用対効果、また民間への委託という部分では、先生方の負担軽減、また授業数がかかりふえてきて、先生方の負担がふえる中で、水泳が専門でない方も多い。実際そういう状態ですので、是非試験的導入を早目にやって進めるべきだと思います。また、北丘小学校は特に、校舎はリフォームということで延命しましたけれども、実際延命であって、近い将来に建てかえがやってくるのです。その前に、プールと体育館は、もともとリフォームではなくて建てかえをするという前提で動いておりましたので、それがいつになるのかと、保護者からも声が上がっています。私が校舎の建てかえをお願いして、リフォームが終わるまで約10年近くかかりました。その中で、プールと体育館がまだなのです。その間にリフォームした校舎の老朽化がどんどん進んでいって、建てかえの時期が来るであろうと思っています。そういう中で、人口もふえて、子供たちの児童数もふえて、幼稚園の受け入れも2歳ですよ。4歳、5歳の受け入れをして、今後またこども園の検討もされているところもあると聞いておりますので、校舎の配置、建物の配置、駐車場の配置、いろいろな部分から検討するタイミングとしては、是非委託も入れて、再建するにしても、改築するにしても、プールの場所、体育館の場所をどのようにするのか、駐車場の確保、これはもう議会側からも、教員の駐車場確保は町が行うべきだと留意事項もつけておりましたので、是非早期にやるべきだと思います。この調査については、どのように行っていくのか。含めて検討していきますではなくて、実際、調査に早期に入らないといけない時期だと私は思うのですが、どのように行っていく予定でいるのかを確認したいと思います。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 調査については、議員から提案がありますようなプールの外部委託の部分、それからプールと体育館の建てかえを含めた、PPP/PFIを含めた手法等については、検討をしていくことが必要だと考えています。いずれにしても、先進事例の場所でどういうことが起きているかということでありまして、県内でもそういう動きをし

ている市町村がございますので、その辺をまず調査して、先ほどから言われています、建てかえを含めたいろいろな検討の部分について、いろいろな角度から検討しないといけないと思いますので、我々のほうで知り得る調査も駆使して、まず調査をして、それを内部のほうでかみ砕いた形で、次の計画の策定に役立てていくというところから始めていきたいと考えています。

○議長 知念富信君 12 番 赤嶺奈津江議員。

○12 番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。いろいろな検討をされていくと思いますが、実際県内でも検討しているところがあると。費用の部分に関しても、委託にしても費用が出てくるので、できたら補助金とか助成金とか、そういったものがないのであれば要望するとか、実際、先生方の負担軽減は国も言っていることですので、いろいろなところでのフォローを、県だけではなくて、町長を初め、全国区でお願いしないといけない部分ではないかと思います。沖縄は人口増でありますけれども、県外ではかなり少子化で廃校に近いぐらいの人数で建てかえもできない。反対に釣り堀にした学校もあると聞いていますので、そういったところから学校のあり方というのがどんどん変わってくる時期だし、その地域にあわせた学校のあり方になってきていると思いますので、これだけ小さい面積の南風原町に4校の小学校、2校の中学校がある中で、子供たちはどんどんふえていく。校舎の配置を含めどうやって検討していくか。北丘小学校の建てかえが目の前に迫ってきているというところで、いい事例になってくれるのではないかと私は思っていますので、早期に対応をお願いしたいと思います。実際、町内には2社の業者さん、スイミングスクールもありますけれども、ほかのところも含め受け入れてくれるところがあるのであれば、そういったところも是非検討すべきだと思います。その点について、町がもし委託をするときの懸念事項があれば、確認したいと思うのですが、どういったところが懸念されますでしょうか。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 今回の提案の水泳授業の外部委託については、我々も、先進事例のほうに少し目を通していただきました。懸念事項というご質問だったのですが、先進地もそういう計画をされたときに、まず教育委員会の理解もそうですが、保護者の方への説明、それから理解を求める作業が結構ありました、とありました。費用対効果の部分についても、建築費という形で、長いスパンで負担する費用と、単年度単年度で負担していく費用の部分について、考え方を整理する必要があるということもございました。さらにもう一つは、それを受託する事業所への距離、それからスケジュール等についての問題点が挙げられておりましたが、その辺については、我々は一つの検討しないといけない部分として考えているところで、まずその辺を整理しないと、新たな懸念と言われるようなことになるのかどうか

を整理してから、その辺についてはよく考えて進めていきたいと思っています。

○議長 知念富信君 12 番 赤嶺奈津江議員。

○12 番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。実際、移動手段とか、どうやって行くのかということもかなり心配される部分もあると、私の先進事例の中でもあったのですが、実際、北丘小学校は目の前にスイミングスクールさんもあって、裏道を通れば、階段をきれいに整備すれば、すぐに歩いて行けるぐらいの距離にあるものですから、移動手段としては、ほかの学校に比べてかなり、試験的に導入するにしてもいいのではないかと思います。実際、屋外のプールを使用する際には、雷があるとできないとか、水温は何度以下だとできないとか、いろいろな状況で、水泳の授業でプールを使う時間がかなり厳しいときがあるんですね。特に沖縄は、暑い割には雨天になることが多くて、雷注意報も多くて、晴れていても雷注意報が出るぐらいですので、そういう状況の中ですので、室内の温水プールということであれば、長期的に契約でやって、2 時間程度の授業を分割していけば、年中できるような環境にあると思います。そういうことと言えば、雷等で中止もない、先生方の負担もない。また、専門の先生が教えることになるので、水泳の上達もあると。実際、そういう効果もあると思いますので、是非試験的な導入を早期にやってみて、今後の学校のあり方も検討していただきたいと思います。実際、今、北丘小学校プール、もう間もなく 40 年ぐらいになると思うのですが、これまで稼働できなかった時期が多分あると思います。モーターが壊れたとか、ポンプの調子が悪いとか、それだけでもかなり維持費的にかかって、プールができない時期もあったと思うのですが、そういったときの対応として、町としてはどのような対応をされていたのか、確認したいと思います。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 私が少し調べた範囲では、基本的に稼働できない状況の故障は記憶にないのですが、事前に、プールが始まる前までには、その辺については、予防策を張って修理をしておく、それから準備をしておくという形にさせていただいていると考えています。ただ、おっしゃるような形で、屋外にありますので、天気の関係上、気温の問題であるとか、雨とかの問題、プールの授業が変わるということは、何度かあったと話は聞いておりますけれども、機械等の故障で長い間プールができないということはなかったと記憶しています。

○議長 知念富信君 12 番 赤嶺奈津江議員。

○12 番 赤嶺奈津江さん いや、実際にはありました。私が覚えている中では 300 万円ぐ

らいかかるので、すぐにはできないということで、プールの授業がおくれたか、何だったかはっきりしていないのですが、できない時期がありました。そういったことで言えば、子供たちが楽しみにしていることもできなくなる、授業にも支障を来すということが実際あったのです。結局、モーターにしても、発注して時間がかかりますよね。故障してすぐにはできないとか、またプールの清掃等にもかなり負担が来っていて、北丘小学校は一時期草も生えて、藻もすごいひどくて、先生方が2日ぐらいかけて大掃除しないと使えないぐらいになるというような、周りに草木が多いということで、緑あふれる学校ということではありますけれども、そういったところで維持管理が大変だという部分もありました。そういったものが中に入って故障の原因になっている部分もあったと、私は記憶しているのですが、そういったところからも、外部に委託することで、基本、今の県内の民営のプールは大体屋内ですよ。温水プールが基本ですので、そういった維持管理の部分でも負担が少ないのではないかと思います。県内の小中学校の中には、屋内、体育館の下だったり、いろいろな状況で室内のプールもあるのですが、かなり水温が低くて入るのが大変という部分もあったものですから、南風原中学校は校舎の屋上にあるというところで、ほかのところにもないプールであって、かなり温かくて入りやすいと聞いているのですが、今後、校舎の建てかえがあるときには、プールも一緒に建てかえになるということになりますので、いろいろな観点から、これからの校舎の維持管理、施設の配置、全てを含めて長期的な目線で、子供たちの環境整備をお願いしたいと思います。これで質問を終わりたいと思います。